

向上する住民の生活 更なる地域振興を



未活用の町有地

公有財産処分の ルール策定の進捗は

◎ 昨年度、町の財産処分についてルール作りを検討するとあったが状況は。

また、重要なのは議会に対する説明責任の徹底とまちづくり基本条例の遵守であり早急にまとめてほしい。

◎ 以前より財産処分の方針等を準備しており、現在具体的な様式を含め検討しているところだ。

◎ 議会より申し入れがあった説明責任は肝に銘じ履行したい。

亡くなった方の情報と 個人情報保護の整合は

◎ 個人情報保護法では亡くなった方の情報は対象から外れるが、情報を提供する側と知りたい側よりも故人の家族の心情と意見を尊重するのが望ましいと思うがどうか。

◎ 町としてはどのような情報の取り扱いとしているか。

◎ 役場に問い合わせがあった場合、遺族に新聞広報等に掲載してよいと同意をもらった場合のみ情報提供を行っている。必要性を含め、今後課題を整理したい。



選挙公営制度周知と 選挙費用の削減は

◎ 選挙公営制度の総括として町長・町議選立候補者説明会の実施時期を年末より前に実施することで町内業者への負担を軽くできないか。

また、今回の実績をもとに費用削減ができないか。

◎ 年末年始を挟んでの選挙準備は事業者の負担も大きい。立候補予定者の関係書類の押印廃止や事務の簡素化、一人当たりの選挙費用の積算を含め整理しながら対応する。

◎ 意見 お金のかからない明るい選挙制度になるようお願いする。



ごみ収集運搬のルート 再検討については

◎ 家庭からのごみの収集運搬体制は適切か。曜日ごと回収ルートを町が定めていると思うが、人口増加や収集距離の効率化は計画されているか。

◎ 業務委託を始めた当初の計画から変更が無く、人口増加地域と減少地域のバランスが崩れてきていると認識している。収集地区の入れ替えなどの見直しを検討し、事業者の協力を頂いて協議をしなければならない。



クリーンの森合志への搬入状況

賞味期限が迫った備蓄 食料の活用は

◎ 災害対応の備蓄食料の管理はどのようになっているか。

また期限が迫った備蓄食料の活用でフードドライブやアルファ米試食などの企画は。

◎ 備蓄食料の賞味期限は5年程度であり、防災訓練で期限が迫ったものを配布している。町は備蓄計画のもと常時6万食の保有を目標にし毎年1万2千食を購入し更新している。

◎ 今後は配布だけでなく住民が試食できる機会を防災訓練等で作って行く。

職員駐車場の借上げは 公費で負担すべきか

◎ 職員駐車場借り上げ料が計上されている。駐車場は各個人が準備すべきもので町が費用負担すべきものなのか。職員からの料金徴収も含めどのように考えるか。

◎ 職員駐車場は以前から不足しており、庁舎近隣の土地を借りて確保運用している。町内にはバスや鉄道路線もあるが、利便性から車で通勤せざるを得ない職員もいる。

◎ 現在、職員からは使用料として月千円を徴収している。

◎ 新庁舎の利用開始に伴い、役場機能の集約から利用される住民の利便性も含め今後は庁舎の全体的な駐車場計画について検討する。

◎ 意見 一般企業では、自社の職員が通勤で利用する駐車場は確保し、無料で利用させている。

総務 委員会 レポート

適正な予算の執行と それらがあいまった

一体となった 経済活動支援を



Q 企業誘致活動は県下の競争をどのようにしているのか。
A 大津町としては、他の自治体に参加されないセミナーにも積極的に参加し町の優位性をPRするチラシを配布し、一歩先行く誘致活動を進めていく。

企業誘致の活動は

Q 企業誘致活動は県下の競争をどのようにしているのか。

A 大津町としては、他の自治体に参加されないセミナーにも積極的に参加し町の優位性をPRするチラシを配布し、一歩先行く誘致活動を進めていく。

公共Wi-Fiについて



Q 観光を充実させるためにはWi-Fi整備が重要事項となっているが進んでいない。Wi-Fiが整備されると人が集まり情報が伝わる。効果を検証するのが難しいかもしれないがインフラ整備として投資していくべきではないか。

A Wi-Fi整備については以前から話が出ている。特にインバウンド需要が見込まれる場合は外国人の方はWi-Fiがないと苦労されている。協議しながら観光面でできることを検討していく。

調整池の安全対策は

Q 調整池の土砂を取り除かなかつた場合どうなるのか。

A 調整能力を保つためには泥水等の流入量や排出機能の確認が必要であり、10年周期で、約40箇所を計画的に取り除いている状況である。期間は10年が妥当だと考えている。

Q 調整池が溢れた事例はあるのか。

A いくつか発生した事例があるので、住民の不安を払拭できるように基本的な対策を考えたい。



町内の調整池

農・商・工・観 力強い

経済建設 委員会 レポート



農業従事者に向けての補助金の申請は

Q 環境保全型農業直接支払交付金、経営継承・発展支援事業補助金、産地生産基盤パワーアップ事業補助金の申請の流れはそれぞれどのようなになっているのか。

A 環境保全型農業直接支払交付金は町を経由して県や国へ申請を行う。経営継承・発展支援事業補助金は国の補助金ではあるが事業実施主体が一般社団法人全国農業会議所となっているので、県を経由せず、直接、町から全国農業会議所に申請を行う。産地生産基盤パワーアップ事業補助金は町を経由して、県や国へ申請を行う。

有害鳥獣対策の 取り組みは

Q イノシシの捕獲実績は昨年と比べてどうか。

A 昨年度の捕獲実績は231頭となっている。平成30年度は54頭、令和元年度は113頭となっており、捕獲頭数は2年連続で倍になっている。



野生のイノシシ

全国農地ナビの 利用状況は

Q 農地情報公開システムとは全国農地ナビのことかと思われるが、利用者数は把握しているか。

A 利用者登録等が必要ないため、利用者数の把握はできません。

意見 有用なシステムだが知らない農業者が多いように思える。広く周知していただきたい。



全国農地ナビホームページ

生活基盤充実と 利便性向上を

公立保育所等の 今後の方向性は

◎ 国の方針では民営化や統廃合の方向で町も検討委員会を設置に至ったと思うが、町として具体的な方向性はあるのか。

また、民営化も含めて検討するのか。

◎ 利用者のニーズが満たされた上で公立の役割を充実させ、保育全体の機能を付加することができると検討し、今後20年ぐらいのスタンスで全体を見ながら町の方向性を考えていきたい。統合や民営化等も含めて、基本的にはゼロベースで検討を行う。



町立大津幼稚園

今後のワクチン接種を 円滑に進めるために



◎ ワクチン接種は進んでいくと思うが、今後の取り組みとしてフリーダイヤルへの変更や土日の対応などを導入する考えはあるのか。

◎ 土日に役場に電話があった場合は当直職員からの連絡で対応している。

また、現在はインターネットでの予約が中心なので、今後も継続する際には委託内容を考えたい。

子育て世代の 地域の

移動販売車の 活用促進に向けて

◎ 移動販売車の販売実績や状況は把握しているのか。また、補助の内容は。

◎ 2号車が8月2日から稼働したが、雨が多く販売目標を下回った。

◎ 今後は情報発信を積極的にを行い、ルートや販売場所も検討するなど販売実績の向上を図りたい。

燃料費等に補助金を交付している。



移動販売車「さくちのまんまGO!!2号車」

◎ 利用児童数は今後増加するのか、少し落ち着くのか。また、新設された学童施設について利用児童数は今後増加するのか。

放課後児童クラブ 増員への対策は



放課後児童クラブ「新設されたあひみキッズクラブ」

◎ 室内では利用者の増加が考えられる為、事業主に補助金を出している。既在施設を改修し、新設した施設で2クラブ運営できるが、現在は1クラブの運営で、今後は約40人は追加で受入れ可能となる。また大津小学校区でも今年度2クラブ建設予定で増員への対策を図る。

修学旅行キャンセル料 への対応は

◎ 修学旅行をキャンセルする判断基準や直前になり陽性者や濃厚接触者と特定された場合のキャンセル料も含むのか。

◎ 県からの通知では、可能な限り実施を検討することとなっているが、子ども達の安全・安心を第一に判断しなければいけない。現時点では、直前に行けない事態になった場合も返金手数料も含め積立額全額を返金する予定である。



不妊治療助成の成果は

◎ 不妊治療を受ける助成は前年度より2倍以上に増加しているが、その要因と周知方法は。

◎ 制度開始から1年が経過したことや、県の助成に上乘せする制度のため県の広報や医療機関による個別の案内もあるため認知されてきたと考える。



文教厚生 委員会 レポート